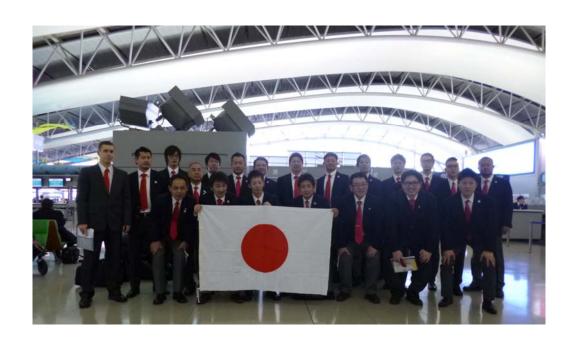
BANDY WORLD CHAMPIONSHIPS 2014 (バンディ世界選手権 2014 RUSSIA・IRKUTSK 大会)

大会報告



2014年2月

一般社団法人日本バンディ連盟



1. 大会概要

(1) 開催期間 • 開催地

A グループ : 2014.1.26~2014.2.1 IRKUTSK, RUSSIA B グループ : 2014.1.27~2014.2.2 IRKUTSK, RUSSIA

(2) 参加国(17 カ国)

A グループ : RUSSIA, SWEDEN, KAZAKHSTAN, FINLAND,

NORWAY, U.S.A., BELARUS, CANADA

B グループ : LATVIA, HUNGARY, ESTONIA, NETHERLANDS,

JAPAN, UKRAINE, SOMALIA, GERMANY, MONGOLIA

(3) 組み合わせ

B グループ予選リーグ

JAPAN - UKRAINE

JAPAN - MONGOLIA

JAPAN - SOMALIA

JAPAN - GERMANY

Bグループ決勝リーグ

JAPAN - NETHERLANDS

JAPAN - LATVIA

JAPAN - HUNGARY

2. 大会結果

	A グループ	B グループ		
第1位	RUSSIA	第1位	LATVIA	
第2位	SWEDEN	第2位	ESTONIA	
第3位	KAZAKHSTAN	第3位	HUNGARY	
第4位	FINLAND	第4位	JAPAN	
第5位	NORWAY	第5位	NETHERLANDS	
第6位	U.S.A.	第6位	MONGOLIA	
第7位	BELARUS	第7位	GERMANY	
第8位	CANADA	第8位	UKRAINE	
		第9位	SOMALIA	



3. 日本チーム試合記録

(1) 予選リーグ第1戦(2014.1.27 13:00 開始 @STADIUM RECORD -24℃)

<u>○日本 2 - 1 ウクライナ●</u>

GOAL

18:00 #18 石岡 元 45:00 #18 石岡 元





(2) 予選リーグ第2戦(2014.1.27 17:00 開始 @STADIUM RECORD -15℃)

<u>○日本 3-2 モンゴル</u>●

GOAL

30:00 #18 石岡 元 37:00 #16 藍原 弘典 44:00 #16 藍原 弘典

藍原 弘典 (ASSIST #66 川口 真吾)







(3) 予選リーグ第3戦(2014.1.28 17:00 開始 @STADIUM ZENITH -10℃)

O日本 12 - O ソマリア●

<u> </u>			<u> </u>	_
GOAL				
01:00	C	#10	大谷	賢司
02:00	C	#16	藍原	弘典
09:00	C	#74	宮川	真紀
22:00	C	#74	宮川	真紀
30:00	C	#10	大谷	賢司
33:00	C	#66	Ш□	真吾
38:00	C	#74	宮川	真紀
39:00	C	#66	Ш□	真吾
45:00	C	#10	大谷	賢司
46:00	C	#91	大畑	篤志
53:00	C	#91	大畑	篤志
54:00	C	#91	大畑	篤志



(ASSIST #66 川口 真吾)

(ASSIST #74 宮川 真紀)











(4) 予選リーグ第4戦(2014.1.29 13:00 開始 @STADIUM ZENITH -14℃)

△日本 4-4 ドイツ△

GOAL

39:00 #18 石岡 元 (ASSIST #10 大谷 賢司) 40:00 #14 金子 真英 (ASSIST #10 大谷 賢司) 47:00 #66 川口 真吾

52:00 #16 藍原 弘典 (ASSIST #18 石岡 元)

PS (PENALTY SHOOTOUT)

O<u>日本 1 - 0 ドイツ</u>●

※PS では、#23 GK 松本和樹が気迫のセーブで完封。3 勝 0 敗 1 分で予選リーグ B グループ (B プール) 1 位通過





(5)決勝リーグ第1戦(2014.1.30 17:00 開始 @STADIUM STROITEL -18℃)

○日本 3-2 オランダ●

GOAL

01:00 #18 石岡 元

39:00 #74 宮川 真紀 (ASSIST #18 石岡 元) 79:00 #66 川口 真吾 (ASSIST #74 宮川 真紀)

※前大会の雪辱を晴らす。







(6) 決勝リーグ第2戦(2014.1.31 12:00 開始 @STADIUM ZENITH -21℃)

●日本 0-8 ラトビア○





(7) 決勝リーグ第3戦(2014.2.1 16:30 開始 @STADIUM ZENITH -18℃)

●日本 2 - 6 ハンガリー○

GOAL

58:00 #10 大谷 賢司

69:00 #91 大畑 篤志 (ASSIST #55 三木 友一朗)





(8) GOAL · ASSIST 結果

		GOAL				ASSIST	
#18	石岡	元	5	#66)II□	真吾	3
#10	大谷	賢司	4	#10	大谷	賢司	2
#16	藍原	弘典	4	#18	石岡	元	2
#66		真吾	4	#74	宮川	真紀	2
#74	宮川	真紀	4	#55	三木	友一朗	1
#91	大畑	篤志	4				
#14	金子	真英	1				
	i	総計 26				総計 10	



4. 日本の戦績

今回の世界選手権 B グループは、9 カ国が参加しました。

まず A・B 二つのプールに分かれて予選リーグが行われ、日本は、B プールでウクライナ、モンゴル、ソマリア、ドイツと予選を戦いました。ウクライナ、モンゴル、ドイツはいずれもロシア系バンディ経験者を擁するチームであり強敵でしたが、接戦を制することができ、無敗で予選 1 位通過となりました。

決勝リーグでは、A プール 1 位のラトビア、3 位のハンガリーと対戦。いずれも強敵であり、また、氷点下 30 度近くまで気温が下がった競技会場での故障者の影響もあったことから、結果として B グループ 4 位という成績となりました。

3 回目の出場となる日本の成長ぶりに各国は驚き、地元メディアから取材を受けるなど、衝撃的な印象を与えました。さらには、地元イルクーツクでは親日の住民も多く、日本からの留学生や地元住民からの熱い声援の中でプレーすることができました。大変嬉しい事です。

また、全日程後のレセプションパーティーにおいて、B グループのベストメンバーが 発表され、BEST GOALKEEPER として、#1 田中智志 が見事に選出されました。

今後の課題としては、個々のスキルアップ・スタミナ増強はもちろん、フルバンディリンクでの試合経験を積んでいきながら、戦術的な適応を更に図る必要があると思われます。









5. バンディ世界選手権 2014 日本選手団

団 長:高村 博正

副 団 長:岡田 幸明, 志水 隆一

監督: 宅野六朗主将: 石岡元

スタッフ: 千葉 智紹, EVGENY BORODICH

区分		氏名	背番号	所属
役員•団長	高村	博正	-	大阪大谷大学名誉教授
役員・副団長	岡田	幸明	-	医療法人幸歯会岡田歯科医院
役員・副団長	志水	隆一	27/38	公益財団法人都市活力研究所
役員•監督	宅野	六朗	12	医療法人榊原クリニック
STAFF	千葉	智紹	ı	SET YOU FREE
STAFF	EVGI	ENY BORODICH	ı	公益財団法人石川県国際交流協会
選手•主将	石岡	元	18	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
選手	楠本	泰教	19	株式会社コナミスポーツ&ライフ
選手	金子	真英	14	株式会社ジェーシービー
選手	藍原	弘典	16	パナソニック株式会社
選手	三木	友一朗	55	三菱ふそうトラック・バス株式会社近畿ふそう
選手	石岡	仁	24	有限会社ジグ・スポーツ・プロジェクト
選手	JII 🗆	真吾	66	株式会社阿部新聞店
選手	田居	智彦	11	株式会社モリタ
選手	田中	智志	1	株式会社パティネレジャー
選手	平野	康一	4	有限会社ショーテック
選手	大畑	篤志	91	日興電気工業株式会社
選手	大谷	賢司	10	愛媛パッケージ株式会社
選手	宮川	真紀	74	前田建設工業株式会社
選手	小崎	智輝	7	近畿大学経営学部
選手	松本	和樹	23	関西学院大阪インターナショナルスクール







6. 最後に

日本は、3年連続でバンディ世界選手権大会に出場いたしました。

出場した B グループにおいて、日本は、予選リーグ 1 位通過し、決勝リーグでは 1 勝 2 敗、B グループ 4 位という成績で終了しました。日本は、昨年のスウェーデン大会に比べ、着実にレベルアップをしていることを実感いたしました。今後、フルバンディリンクでの経験を更に積むことで、確実に B グループ 1 位に、そして、世界のトップグループである A グループへの昇格も見えてきたと確信できる大会となりました。

日本バンディは、昨年、ロシア・ハバロフスクのバンディ連盟との協定を締結しました。ハバロフスクは、日本から一番近いプロバンディチームのある都市であり、日本における普及活動や代表チーム強化、指導者・選手育成システムの確立などを具体的に進める上で重要なパートナーとなっています。今後も国際バンディ連盟(FIB)やアメリカ・カナダなどと同様、継続的に交流を図り、日本のバンディ普及のための両国の協力関係を一層強めてまいります。

世界におけるバンディの状況としては、2017 年開催の冬季ユニバーシアード大会において、バンディが正式種目として採用が決定されました。今後は、FIB が中心となり、冬季オリンピックへの種目採用への活動を引き続き積極的に推進します。

日本バンディ連盟(JBF)といたしましても、今後、さらに日本におけるバンディの普及活動に注力しながら、バンディを通じての国際交流や世界大会への出場を通じて競技力の向上を図り、世界における日本バンディの存在感を高めてまいります。また、FIBとの関係を強化し連携しながら、世界におけるバンディ競技の普及と冬季オリンピックへのバンディ競技の採用を目指してまいります。

このように日本の活動は、着実に成果を積み上げておりますが、これも偏に協賛いただいた各社、賛助会員の皆様をはじめとして応援いただいたすべての皆様のお陰と感謝いたしております。

このたびは、誠にありがとうございました。引き続き皆様の暖かいご支援・ご鞭撻をお願いいたします。

2014年2月

日本バンディ連盟・会長 日本選手団 団長 高村 博正